



国鉄北陸

国鉄労働組合 北陸地方本部
 (NTT)076-231-1506 (FAX)076-231-1114 (JR)065-2393
 (Mail)nru-hk@m2.spacelan.ne.jp
 発行人 藤野 能 章 男
 編集人 山田 輝 男

第81回 定期地方大会

会社を問わず発生する輸送障害、人的な要因が多発

安全輸送・労働者のための闘う運動方針を採択！！

植田西日本本部委員長あいさつ

国労北陸地方本部は8月24日、石川県女性センターにおいて、第81回定期地方大会を開催しました。西日本本部から植田委員長が参加し、「能登半島地震に対しては、未だ安心して暮らせない状況が伺える、一日も早い復興を願うばかりである。定期全国大会・定期西日本本部大会を終えて各大会では、組織強化・拡大、労働条件改善、地方公共交通を守るたたかいを中心に議論された。併せて戦争する国への暴走政治を辞めさせる議論も行われてきた。組織強化・拡大については、国労の将来をどう見ていくのかそが課題である。増やすための展望を見ない限り何も変わっていく事は無い。アプリをはじめ組合員の出来る事をスピーディーに行つて、次への前進をさせて行こう。

代議員からは、安全に直結する課題発言もあった。JRでは輸送障



害も多発しており、6月京都地区では3件連続して発生している。国労はJR貨物も含めて『安全申し入れ』を行ってきたが、労働者・利用者の安全が脅かされている。背景には要員不足・合理化が要因であることは間違いない。組合としても、安全輸送を高める取り組みをしていかなければならない。」とあいさつしました。

代議員の主な発言

・優等列車の車掌は、平日は特改もいることもあるが、土休日はほとんど一人乗務である。9両はなかなか車両全部を見ることが出来ない、二名乗務のたたかいを引き続きやってほしい。

・日勤勤務は朝早く夜遅くということと、前泊や遅れた場合は後泊という事で、中々ゆつくり休めない状況になっている。中間2時間等の休憩時間を設けてあるが、もつと勤務時間を考慮すべきである。

・運転士の年休が入らない状況が、4月からずっと続いている。

・貨物の職場でもシニアに対する労働条件の改善を、他の組合員も交えて行っている。

・新幹線と在来線の機械設備を見ているが、新幹線は夜間作業でない仕事が出来ない。

・敦賀第一分会と敦賀第二分会が合併して敦賀第一分会となった。グランドシニアの応募の時に「技術継承をしてください」と会社から言われた。

・構内での入換事故があり新聞でも取り上げられた。若年社員での現場での教育がもっと必要。

・新幹線の交番検査をしている。日々熱中症のリスクの中仕事をしている。

・手当が3,000円になったと若い社員は喜んでいる。

・ハピラインふくいの労働組合を立ち上げた若手は頑張っている。

